
知財産敷童（ざしきわらし）語り部

『2025 年新年の御挨拶』

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
2025 年の干支は巳（へび）年ですが、へびは、古来より知恵や再生の象徴とされており、特にこの年は新たなスタートや変化を迎えるのにふさわしい年とされています。皆様には、知財産敷童（ざしきわらし）かわら版メルマガの御愛読に感謝いたしますと共に、巳年にあたるこの新年、皆様にとって素晴らしい 1 年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

さて本年 4 月に、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。
万博と知的財産制度の歴史の話になりますが、1878 年第 3 回パリ万博、時代は産業革命の真っ只中、電車、ミシン、マイクロフォン、蓄音機等の当時の人々の生活を変える製品の数々。素晴らしい製品が展示される一方、万国博覧会は模倣との戦いでもありました。模倣されることを避けるため、工業所有権の保護のための国際会議が招集され、これを経て、1883 年 3 月 20 日、特許、商標、意匠などの「工業所有権の国際的保護に関するパリ条約」が生まれました。万国博覧会は知的財産制度の礎となっています。

大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、約 160 の国・地域、国際機関が参加します。また、コンセプトを「未来社会の実験場」として、人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場とするそうです。

特許庁も、「明日を変える知財のチカラ」をテーマに大阪・関西万博に出展します。
誰かの助けになりたい、社会をより良くしたい、そんな想いと創造力から生まれる知的財産をいかして、未来を切りひらく人々の紹介や、未来を作る新技術の体験コーナー、社会課題解決に向けて貴重な一歩を踏み出すキッカケとなるような、楽しくてためになるステージ・イベントなどを用意していますので、皆様の御来場をお待ちしております（注）。

< 参考 >

注： 特許庁の大阪・関西万博特設サイト（特許庁 HP）
<https://www.jpo.go.jp/news/expo2025/index.html>

※配信元：東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）
※本コラムの無断転載を禁じます。